

詔書

朕東洋ノ平和ヲ永遠ニ維持シ帝國ノ安
全ヲ将来ニ保障スルノ必要ナルヲ念ヒ
又常ニ韓國カ禍亂ノ淵源タルニ顧ミ曩
ニ朕ノ政府ヲシテ韓國政府ト協定セシ
メ韓國ヲ帝國ノ保護ノ下ニ置キ以テ禍
源ヲ杜絶シ平和ヲ確保セムコトヲ期セ
リ
爾來時ヲ經ルコト四年有餘其ノ間朕ノ
政府ハ銳意韓國施政ノ改善ニ努メ其ノ
成績亦見ルヘキモノアリト雖韓國ノ現

制ハ尙未夕治安ノ保持ヲ完スルニ足ラ
ス疑懼ノ念毎ニ國內ニ充溢シ民其ノ堵
ニ安セス公共ノ安寧ヲ維持シ民衆ノ福
利ヲ増進セムカ為ニハ革新ヲ現制ニ加
フルノ避ク可ラサルコト瞭然タルニ至
レリ

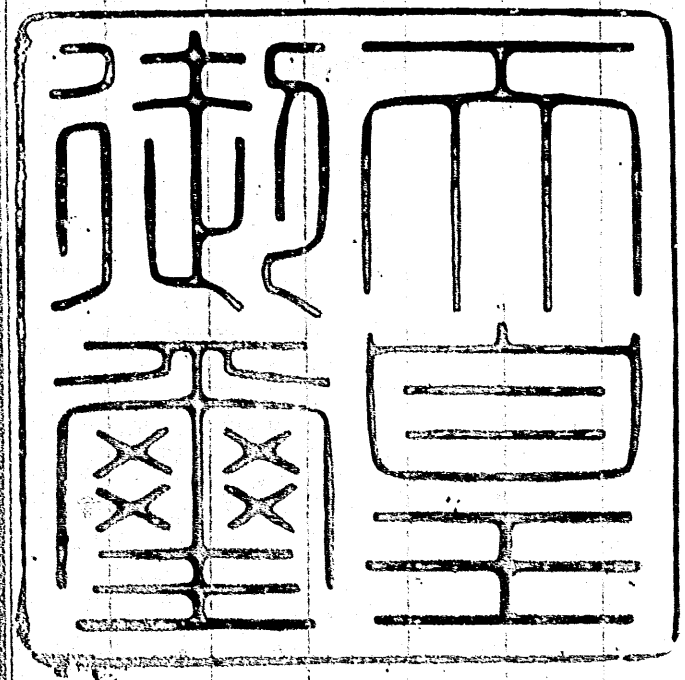
朕ハ韓國皇帝陛下ト與ニ此ノ事態ニ鑑
ミ韓國ヲ舉テ日本帝國ニ併合シ以テ時
勢ノ要求ニ應スルノ已ムヲ得サルモノ
アルヲ念ヒ茲ニ永久ニ韓國ヲ帝國ニ併

合スルコトトナセリ

韓國皇帝陛下及其ノ皇室各員ハ併合ノ後
ト雖相當ノ優遇ヲ受クヘク民衆ハ直接
朕カ綏撫ノ下ニ立テテ其ノ康福ヲ増進
スヘク産業及貿易ハ治平ノ下ニ顯著ナ
ル發達ヲ見ルニ至ルヘシ而シテ東洋ノ
平和ハ之ニ依リテ愈々其ノ基礎ヲ鞏固ニ
スヘキハ朕ノ信シテ疑ハサル所ナリ
朕ハ特ニ朝鮮總督ヲ置キ之ヲシテ朕ノ命
ヲ承ケテ陸海軍ヲ統率シ諸般ノ政務ヲ總

轄セシム百官有司克ク朕ノ意ヲ體シテ事ニ
 從ヒ施設ノ緩急其ノ宜キヲ得テ衆庶
 ヲシテ永ク治平ノ慶ニ頼ラシムルコトヲ
 期セヨ

睦仁



明治四十三年八月二十九日

司農	遞信	内務	海軍	外務	陸軍	内閣
大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	總理大臣
子爵	男爵	士男爵	男爵	伯爵	子爵	侯爵
岡部長職	後藤新平	平田東助	齋藤實	小村壽	寺内正毅	桂太郎
	小松原英太郎					